

豊能医療圏
がん医療ネットワーク協議会
活動報告〔令和2年（2020年）3月4日〕

市立豊中病院
大阪大学医学部附属病院

組織図



【参加団体】

- ◆ 医師会
- ◆ 保健所
- ◆ 市町がん検診担当課
- ◆ ホスピス・在宅診療所
- ◆ 大阪府訪問看護ステーション協会
- ◆ がん診療（連携）拠点病院

がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】
網羅的で精度の高いがん登録の実施

【令和元年度（2019年度）活動報告】

1. 乳がんの院内がん登録データを用いた現状分析

○施設別登録件数：

豊能医療圏がん登録全件数の約1割が乳がん症例

○年齢階級別患者数：40歳代が一番多い。

○地域別・発見経緯割合：地域に関係なく症状受診が多い。

○年齢階級別・発見経緯割合：

症状受診が多いが、40歳代、50歳代のがん検診の割合が少し多い。

○病理組織別割合：浸潤性乳管癌が70%を占めている。

がん登録部会

【令和元年度（2019年度）活動報告】

2. 大阪府がん登録2011年－2012年診断症例

○大腸がん5年生存率：

豊能医療圏は、大阪府の中で生存率が高い。

○患者住所地による医療圏別生存率：

豊能医療圏の生存率が、大阪府の中でトップ

3. 院内がん登録の制度管理

がん登録の実務について意見交換を行った。

緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】
緩和ケアの普及

【令和元年度（2019年度）活動報告】

1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 各施設で地域連携情報シート（リレーシート）の運用に向けた調整を行った。

地域連携情報シート（リレーシート）の運用
運用状況

令和元年5月時点・・・4施設

令和2年1月時点・・・11施設

課 題

記載する手間（負担）が生じ、診療科の協力が得られにくい。

地域連携情報シート Ver.1 (リレーシート)		患者 氏名	記載日		年	月	日
病名		生年 月日	年	月	日	才 性別	記載者 医師 看護師 MSW
現時点で予測される予後	<input type="checkbox"/> 日単位 <input type="checkbox"/> 週単位 <input type="checkbox"/> 1-3ヶ月 <input type="checkbox"/> 3-6ヶ月 <input type="checkbox"/> 6ヶ月以上 <input type="checkbox"/> ()						
急変リスクの見込み	<input type="checkbox"/> 低~中等度 ⇒ (具体的に) <input type="checkbox"/> 出血 <input type="checkbox"/> 穿孔 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 血栓症 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> その他 ()						
予後説明 (時期・伝えた相手・内容)	<input type="checkbox"/> 予後については知らせていない <input type="checkbox"/> () 頃)に()に対し()と伝えた						
病状・予後説明の特記事項 (患者に悪い説明をしない等)							
症状緩和における注意点 (もしあれば)	・効果が乏しかった薬剤() ・副作用が強かった薬剤() ⇒副作用の内容() ・その他()						
*ここから上の太枠内は医師が記載してください。 <input type="checkbox"/> 診療情報提供書参照 定期内服薬の情報、血液検査(数回分、時系列で)、画像のCD・読影所見を添付して下さい							
起居動作	<input type="checkbox"/> 自力歩行可能 <input type="checkbox"/> 介助歩行可能 <input type="checkbox"/> ベッド上臥床 <input type="checkbox"/> ()						
食事量	() 割程度						
医療処置	<input type="checkbox"/> 末梢静脈点滴 <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 月1回の注射 <input type="checkbox"/> 持続皮下注射 <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 外瘻チューブ <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 創処置 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> その他() *点滴・注射の内容() <input type="checkbox"/> 別紙参照						

現在の苦痛な症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()
現在の状況	<input type="checkbox"/> 入院中(退院予定日) <input type="checkbox"/> 通院中⇒今後の通院予定 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
同居家族	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> () 人暮らし;同居家族; ()
訪問看護	() 訪問看護ステーション
ケアマネジャー	() 担当者: ()
在宅担当医	() () 医師
外来主治医	(診療科:) () 医師
緊急時の入院受け入れ	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 条件付で可(具体的内容:)
医療保険	<input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 公費助成()
介護保険	<input type="checkbox"/> 認定有() <input type="checkbox"/> 申請中(区分変更含む)⇒認定調査日: <input type="checkbox"/> 未申請⇒理由:
看取りの場所の希望 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> () 病院 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ホスピス/緩和ケア病棟() 病院 ⇒面談日: <input type="checkbox"/> 未調整
状態悪化時の対応(希望)	<input type="checkbox"/> 入院希望無し <input type="checkbox"/> 入院希望あり⇒() 病院 <input type="checkbox"/> 不明
備考 連携先に伝えたいこと等 (本人の思いや希望を含む)	<input type="checkbox"/> 別紙参照
発信元	〒 TEL FAX 担当:

緩和ケア部会

2. 緩和ケアの普及促進

- (1) 緩和ケアにかかる地域連携を目的とした研修会や会合等への相互参加
緩和ケアに関する勉強会などの開催情報を提供し、相互参加の促進を図った。

実績

調査回答12施設中10施設が参加実績あり
「緩和ケア勉強会等への参加」

市立豊中病院 緩和ケア勉強会
苦痛緩和のための正しい鎮静を考える



- (2) 医療従事者の資質向上に繋がる交流会の企画立案
医療従事者の交流会の実施に向け、開催方法やテーマについて調査を行った。

テーマ案 非がん患者への緩和ケア、ACP
情報提供・情報共有を目的としたもの
災害対応、緩和ケアチームの運営

方法 グループワーク

がん検診情報部会

2. がん教育の推進

- 各市町がん検診担当課から、各市町教育委員会へがん教育実施の働きかけを行った。

市町名	取り組み
豊中市	<ul style="list-style-type: none">・市立中学校3年生へ出前授業を実施（1校）。その際、がん検診のパンフレットを生徒に配布し、保護者への周知啓発も行った。・年度当初に市教育委員会事務局を中心に、関係部局である豊中市保健所、市立豊中病院、またオブザーバとして大阪府健康づくり課も参加し、「がん教育」への取り組みについて各部局の役割、進め方の情報共有等連携を図った。
池田市	<ul style="list-style-type: none">・教育委員会との調整が進まず、実施検討については見送りとなった。
箕面市	<ul style="list-style-type: none">・学校教育担当課と情報共有を行い、各小中学校からの依頼に応じてがん出前講座を行う予定ではあったが、出前講座の依頼はなかった。・小中学校を対象に実施したアンケート結果や、担当教員との意見交換の結果から、がん教育を行う時間的余裕がないことや、生活習慣病、薬物、たばこ、アルコールに関する授業を既に行っていることなどが要因として考えられる。
吹田市	<ul style="list-style-type: none">・吹田市教育委員会では、平成30年度より、教育センターが所管する調査・研究グループに健康・安全研究グループを発足させ、先進的にがん教育を行っている事例を参考にしながら、令和元年度授業に活用できる教材開発を行い研究事業を行った。・また、今後保健センターと教育センターの担当者が連携しながら効果的ながん教育について検討していく予定。
豊能町	<ul style="list-style-type: none">・がん教育への取り組みについては、教育委員会と連携して進めていけるよう検討中
能勢町	<ul style="list-style-type: none">・学校では、中学校2年生の保健体育で、教科書等を使用してがんについて学習をする。・また中学校2年生で毎年行う喫煙防止教室の際には、医師をお招きし、がんについても触れていただきながら、たばこの害について学習している。

がん地域連携部会

【部会活動のメインテーマ】
地域連携によるがん医療の充実

【令和元年度（2019年度）活動報告】

1. <がんリハビリテーションチーム>

がんリハビリテーションの啓発と均てん化

- 療法士の構成人数、対象疾患等のがんリハビリテーション状況一覧表を作成した。
一覧表は、一般の方にも各拠点病院の特色がわかるよう編集し、本協議会ホームページに掲載予定

2. <がん相談支援センターチーム>

がん相談支援センターの連携と改善

- 「就労支援」をテーマに、医師・看護師・メディカルスタッフがどの時点で、どのように関わるのか、各病院で共用できるようなスキーム等について議論していく。

がん研究部会

(1)小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し、小児がん患者の診療に取り組んでいる。

特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫および肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあたっている。

また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。

AYA世代のがんに対しても力をいれており妊孕性についても産婦人科、泌尿器科と連携している。

長期フォローアップ外来を強化しており、がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるように医師、看護師、臨床心理士、薬剤師、チャイルドライフスペシャリストなどの多職種による支援を行っている。

がん研究部会

(2)骨髄移植および臍帯血移植の推進

● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

同種造血幹細胞移植の件数は年間27件（2019年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応しており、骨髄バンク及び臍帯血移植が3/4を占めている。

(3)がん研究の推進

● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

● 臨床研究中核病院

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

がん研究部会

● がんゲノム医療中核拠点病院

- ・「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を受けた。
- ・平成30年9月に品質保証遺伝子検査室が米国病理医協会の認定（CAP-LAP）を取得した。
- ・平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を開始し、令和元年9月末にて受付を終了した。
（200例予定中199例登録）
- ・令和元年9月中旬より保険適用となった2種類のがん遺伝子パネル検査の受付を開始した。（1月時点：85件）
- ・令和元年（平成31年度）は、15のがんゲノム医療連携病院
（大阪府下9病院：大阪国際がんセンター、近畿大学病院、大阪医科大学附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、関西医科大学附属病院、大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、市立東大阪医療センター、大阪労災病院）と協力してゲノム医療の社会実装を推進している。

がん研究部会

(4)先進医療の推進

● 以下の先進医療を現在実施中である（R2.1.1）

1. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療B）
2. 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療B）
3. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療B） ※受付終了
4. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療B）
5. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療B） ※受付終了
6. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療B）
7. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療B）
8. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療A）
9. マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん（先進医療B） ※受付終了

がん研究部会

(5) 人材育成

●がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン (大学院)

64名が在学中

(薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等、小児がんゲノム)